

# JP通信



日本各地に素晴らしい所は山ほどあれど、北海道は天下一品！

## 私たちの暮らす北海道の夏を、存分に満喫！

北海道の夏は本州のような猛暑になりにくく、虫も比較的少なく快適に過ごせるためか、近年は特にキャンプが人気！設備が整ったキャンプ場も多く、炊事場やトイレ、管理棟などが綺麗に整備されており、初心者や女性・お子様も安心です。夜は星空を眺めたり、焚き火も楽しみのひとつ（禁止の施設もあるので必ずご確認ください）ですね。ただ、夏でも夜間は一桁近くまで気温が下がるため、防寒用品は必ず準備してください。そして、キャンプ飯も魅力のひとつ。地元野菜のグリルやジンギスカン、とうきびなど、北海道ならではの味を自然の中で堪能！

スタッフが毎年訪れる洞爺湖も最高ですよ！



その土地の市場や道の駅などで、地元の食品を購入するのはとても楽しいですよ！その際にはぜひ、少しのスイーツも一緒に♪おすすめのキャンプ場は、支笏湖「美笛キャンプ場」釧路町「達古武オートキャンプ場」苫小牧「オートリゾート苫小牧アルテン」等々書ききれませんが！自然と触れ合いながらのびのび過ごす時間は、きっと夏の特別な思い出になるはず。まずは1泊から、キャンプを楽しんでみませんか？

### ◆釧路の天然記念物◆

#### 幻の岩【春採太郎】

#### 大潮のときにだけ会える奇跡の地層

釧路市東部・興津（おこつ）海岸に、ちょっと不思議な名前の岩があります。その名も「春採太郎（はるとりたろう）」。

普段、そこまでの道のりは海で閉ざされていて、年に数時間の“特別な潮の引き（大潮）”のときにだけその姿を見に行くことができる、まさに“幻の巨岩”です。この春採太郎、実は約3,500万年前の地層の中に生まれた、全国でも珍しい“砂岩の柱”なんです。地面の割れ目に海底の砂が入り込み、長い年月をかけて固まったもので、専門家によれば「国内最大級の砂岩脈」なんだそう。この貴重な岩は、釧路市の天然記念物にも指定されています。今年は天然記念物に指定されてから、50年の節目。これを記念して、釧路市で毎年行われている【ジオ・フェスティバル】のメインテーマとされたそうですよ。ちなみに、近くまで行くには、大潮の干潮時を狙って、海岸を長靴や胴付で歩く必要があるため、簡単にはたどり着けないのが残念ですが...。太古の地球がつくりあげた不思議な芸術に、会いに行ってみませんか？（※危険なので安全にご留意ください。）

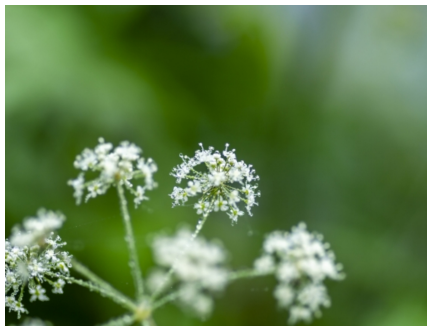
私たちも5月の大潮に春採太郎へ行ってきました！その動画を、後日YouTubeでUPする予定です！ぜひ楽しみに！

### 自然と仲良く楽しむために

涼しく快適な北海道の夏。アウトドアにぴったりの季節ですが、自然の中には思わぬ危険が潜んでいます。楽しい思い出を残すためには少しの注意が大切です。たとえば、山や森にはシシマが生息。人の気配を感じないと出くわす事があるため、熊鈴やラジオで音を出しながら歩きましょう。食べ残しやゴミは匂いで動物を引き寄せてしま

うので、必ず持ち帰ることが基本です。また、夏は虫の活動も活発。アブやマダニに刺されないよう、必ず持ち帰るこ

うので、必ず持ち帰ることが基本です。また、夏は虫の活動も活発。アブやマダニに刺されないよう、必ず持ち帰るこ



ドクゼリの花。似た花有り！注意

う、肌は露出せず長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレーを活用しましょう。帰宅後はマダニが体についていないか確認を。野生動物や草花は、触らずに見るだけに留めて。キツネは寄生虫（エキノコックス）を持っている場合があります。草花の中にはトリカブトやドクゼリなど、毒を持つ種類があります。自然のルールを守り、互いが気持ちよく過ごせることが、アウトドアを安全楽しむ第一歩。ちょっとした心がけで、自然はもっと身近で、もっと豊かな存在になります。

#### 春採太郎と春

採大滝（人工）海岸には昆布がびっしり自生していて滑って危険！トーチカ跡も見ることが出来ます。

